

## 墨田区次世代育成支援行動計画・墨田区子ども・子育て支援事業計画における 5年後の将来像及び評価指標の検証について

主旨： 計画の中間年である平成29年度に計画を見直すにあたり、平成28年度中に再度ニーズ調査を実施する予定である。その際、「5年後の将来像」とその「評価指標」についても検証を行い、教育・保育の質の向上に関するデータとして活用することとしている。検証にあたっては、ニーズ調査では拾いきれない“声”を把握するための手法として、インタビュー形式の聞き取り調査を実施する案が前回の会議で提示された。聞き取り調査の実施主体として、計画策定の“一員”である子ども・子育て会議委員に担ってもらうことも視野に入れるなど、今後、具体的な実施方法等について検討を進めていく。

5年後の将来像	評価指標
【子ども】 心身ともに健康に育ち、すみだに愛着と誇りを持つ気持ちが育まれている	「将来子どもをほしい」と思う子どもの割合
	墨田区に「ずっと住みたい」と思う子どもの割合
	現在の生活が「楽しい」と感じる子どもの割合
【子育て家庭】 安心して子どもを生子、子どもの尊い命を守りながら、生きがいを持って子育てをしている	子育ては「楽しいと感じることの方が多い」と感じる保護者の割合
	“家族や周囲の理解・協力が得られずに子育てに不安や孤立感を感じる”ことは「ない」保護者の割合
	父親が「自分から積極的に子育てに参加している」割合
【地域(企業含む)】 地域の力によりみんなで子育てし、子どもの未来への可能性を引き出している	墨田区には「子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある」と思っている保護者の割合
	ファミリーサポート会員・子育てサポーター数
	地域子育て支援拠点事業(ひろば事業)の利用度
	企業・事業者によるキャリア教育等(外部講師派遣、職場体験、生徒のボランティア活動支援、学習活動の支援等)の実施回数(学校支援ネットワーク本部での把握分)

同じ質問を、対面インタビューで行う。  
理由を聞くことで、背景にある事情を深堀する

### 方法

- ・個人インタビュー
- ・グループインタビュー
- ・最初に少しインタビューしてみて、それをもとにアンケート票を作成して、多くの人に聞く。

### 設問例(子どもに聴く場合)

Q：将来、子どもがほしいですか？

A：はい

Q：どうして、そう思いますか？

A：子どもが好きだから、、、など

### 設問例(大人に聴く場合)

Q：子育ては楽しいと感じますか？

A：はい

Q：どういうときに、そう思いますか？

A：子どもの寝顔みているときとか。

Q：大変だと思うときは、どんなときですか？

### 活用方法

- ・中間年の見直しの際や5年後における指標の変化の背景を掴むことができる。

地域(企業)は支援側であるため、受益者の質の評価としては対象外とする

5年後の将来像	評価指標
<b>【子ども】</b> 心身ともに健康に育ち、すみだに愛着と誇りを持つ気持ちが育まれている	「将来子どもをほしい」と思う子どもの割合 中学生 67.3% 70.0% 高校生等 63.9% 70.0%
	墨田区に「ずっと住みたい」と思う子どもの割合 中学生 45.3% 65.0% 高校生等 57.6% 65.0%
	現在の生活が「楽しい」と感じる子どもの割合 中学生・高校生等ともに 65.0% をめざす
<b>【子育て家庭】</b> 安心して子どもを生み、子どもの尊い命を守りながら、生きがいを持って子育てをしている	子育ては「楽しいと感じることの方が多い」と感じる保護者の割合 乳幼児の保護者 66.1% 72.0% 小学生の保護者 59.2% 68.0%
	“家族や周囲の理解・協力が得られずに子育てに不安や孤立感を感じる”ことは「ない」保護者の割合 乳幼児の保護者 27.9% 55.0% 小学生の保護者 38.5% 60.0%
	父親が「自分から積極的に子育てに参加している」割合 乳幼児の保護者 53.1% 56.0% 小学生の保護者 43.1% 45.0%
	父親が育児休業を取得した割合 乳幼児の保護者 1.6% 3.0%(1か月以上取得)
<b>【地域（企業含む）】</b> 地域の力によりみんなで子育てし、子どもの未来への可能性を引き出している	墨田区には「子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある」と思っている保護者の割合 乳幼児の保護者 41.3% 43.0% 小学生の保護者 43.6% 48.0%
	ファミリーサポート会員・子育てサポーター数 215人 300人
	地域子育て支援拠点事業（ひろば事業）の利用度 乳幼児の保護者 29.8% 33.0%
	企業・事業者によるキャリア教育等（外部講師派遣、職場体験、生徒のボランティア活動支援、学習活動の支援等）の実施回数（学校支援ネットワーク本部での把握分） 311回 400回